



第12回ナレッジイノベーションアワード

ナレッジキャピタル部門 応募要項

第12回ナレッジイノベーションアワード

ー ナレッジキャピタル部門 ー

開催概要

グランフロント大阪の中核施設「ナレッジキャピタル」では、ミッションである「産業創出」「人材育成」の一環として、当アワードを開催しています。ナレッジキャピタルから生まれるアイデアによる「ナレッジイノベーション」の具体的な成果を広く社会に発信する取り組みです。ナレッジキャピタル参画者による多彩な活動を評価する「ナレッジキャピタル部門」、一般の中高生を対象に「未来の仕事」についてアイデアを募る「中学生アイデア部門」「高校生アイデア部門」で構成しています。各部門とも、書類審査を通過した方には、2025年3月20日(木・祝)に開催する最終審査会にて公開パフォーマンスをしていただき、各賞を決定します。

主催	一般社団法人ナレッジキャピタル
後援	近畿経済産業局 / 大阪府 / 大阪市 / 関西経済連合会 / 大阪商工会議所 / 関西経済同友会 / 大阪デジタルコンテンツビジネス創出協議会
審査員	<div>〈審査員長〉</div> <div>河 口 洋一郎 東京大学 名誉教授 / アーティスト / 霧島アートの森 館長</div> <div>〈審査員〉 ※50音順</div> <div>伊 藤 恵理 東京大学 先端科学技術研究センター 教授 / 東京大学 総長補佐</div> <div>遠 藤 諭 株式会社角川アスキー総合研究所 主席研究員 / MITテクノロジーレビュー日本版アドバイザー</div> <div>大川内 直子 文化人類学者 / 株式会社アイデアファンド 代表取締役</div> <div>塩 瀬 隆之 京都大学総合博物館 准教授</div> <div>村 上 憲郎 大阪公立大学大学院 教授 / 元Google日本法人名誉会長 / 東京国際工科専門職大学 学長</div> <div>安 田 洋祐 経済学者 / 大阪大学経済学部 教授</div> <div>〈ナレッジキャピタル部門 特別審査員〉</div> <div>信 谷 和重 経済産業省 近畿経済産業局長</div> <div>※ナレッジキャピタル部門 近畿経済産業局長賞のみ審査</div>

【応募要項】

【応募資格】

ナレッジキャピタル参画者（The Lab.、コラボオフィス、コラボオフィスnx、フューチャーライフ ショールーム、ナレッジオフィスの入居者、出展者）、ナレッジサロン会員、ナレッジキャピタルが主催するイベント開催時の共催団体

【応募対象】

2023年12月1日(金)～2024年11月30日(土)の期間にナレッジキャピタル参画者が展開（研究、開発、展示、実演、販売等）したコンテンツや活動であること。

【応募資料】 ※詳細項目に関してはエントリーシートをご覧ください

STEP1 ウェブサイトからエントリーシートをダウンロード

エントリーシートに必要事項をご記入ください。

STEP2 エントリーシートを下記の送付方法いずれかで応募

別途エントリーシートで使用した画像の元データ（jpg/tiff/png/bmpなど）も同様に送付

※エントリーシート内の全項目の記入が必要です。

※**複数作品**を応募可能です。（応募数に制限はございません。）

※エントリーシートに作品の動画を添付することも可能です。（動画は1分以内かつmp4に限ります。）

【エントリーシートの送付方法】

《メール》 デジタルデータを送信

エントリーシート、使用した画像元データ、動画データをまとめたファイルをメールに添付、もしくは各種アップローダーにアップロードの上、メールにてURLをご送付ください。

※スキャンデータの場合、文字が読める解像度、濃さであることを事前にご確認ください。

※メールの件名に「ナレッジキャピタル部門応募」と記載ください。

（送付先）ナレッジイノベーションアワード事務局：kia@kc-i.jp

《郵送・持参》 応募資料・データを封筒に入れて郵送・持参

エントリーシート、画像元データ及びシートの電子ファイルをまとめた記録媒体（USB、CD-R等種類は問いません）を持参、またはご郵送ください。

※複数の作品を応募の際はフォルダ分けなどで判別可能なデータ及び名称を作成のうえ、ご応募ください。

（送付先）

ナレッジイノベーションアワード事務局

〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 ナレッジキャピタル8階 K840

（株式会社スーパーフェスティバル内） TEL：06-6131-6881

【 応募 締 切 】 2024年11月30日(土)

※郵送の場合は30日当日消印有効、
メールの場合は30日23:59まで受付

【応募要項】

ナレッジキャピタル部門

プロダクト、プロジェクト、イベント、または社内でのお取り組みなど、ナレッジキャピタル参画者の皆様の活動すべてが応募の対象となります。

※ご応募いただいた内容は選考ならびにナレッジキャピタルの活動（参画者同士のコーディネート、マッチング支援、広報）にも利用させていただきます。機密情報を含む内容で、取り扱いに特に注意が必要な場合は事前にその旨ご連絡ください。

【審査基準】

下記の項目を含む、イノベティブな活動であること

※全ての要素を満たすことが必須ではありません。また、必ずしも発明や発見を伴うプロジェクトである必要はありません。

- 革新的なアイデアがある
- エンターテインメント性など人の心を強く掴む要素がある
- 先端技術や技術改良などの工夫がある
- 事業化の可能性が高い
- 新しい組み合わせやコラボレーション要素がある
- 世界的な広がりを感じる要素がある
- 社会的影響力を持ち、社会変革の可能性がある
- デザインが優れている
- 継続的な活動により、業績やイメージブランディング向上に寄与している

【審査の流れ】

1次審査

審査員による書類審査

実施時期：2024年12月下旬予定

2次審査

審査員による審査
(1次審査を通過した作品が対象)

実施時期：2025年1月上旬予定
※2次審査後、全応募者に結果の連絡をいたします。

公開パフォーマンス・最終審査会

2025年3月20日(木・祝)

2次審査通過者による公開パフォーマンス及び各賞の決定

開催場所：グランフロント大阪 北館4階 ナレッジシアター

※2次審査通過者の方は、パフォーマンスのご準備をお願いいたします。

※最終審査会の詳細は後日公式ウェブサイトにて公開いたします。

グランプリ等各賞決定・発表

【結果発表について】

2025年3月20日(木・祝)開催する「公開パフォーマンス・最終審査会」にて発表いたします。受賞結果は最終審査会後に公式ウェブサイトでも公開予定です。

【応募要項】

【各賞について】

書類審査を通過した7組の皆様には

- 成功への扉を開く鍵「サクセスキー・トロフィー」
- 広報物に使用可能なアワード受賞ロゴ
- 木曜サロン登壇の権利

を贈呈するほか、副賞もお選びいただけます。副賞の詳細は下に記載しておりますのでご確認ください。

（近畿経済産業局長賞に限り、上記以外に「近畿経済産業局特製の表彰状」も進呈されます。）

※各施設の利用は事務局にご相談ください。別途人件費や設備費がかかる場合がございます。

※いずれも、催し物開催時の実費（人件費、備品費等）に関しましては受賞者でご負担をお願いいたします。

※使用用途（内容や主催者等）に関しましては受賞者と協議の上決定するものとします。

グランプリ…1点

- 副賞（いずれかひとつ選択）
 - 〈A〉賞金30万円
 - 〈B〉ナレッジキャピタルでの更なるご活躍の機会の「場」の提供

下記よりひとつ選択（2025年度中有効）

- ・カンファレンスルームの無料使用 … 6室
- ・ナレッジシアターの無料使用 … 1日
- ・イベントラボの無料使用 … 3日
- ・アクティブスタジオ（The Lab.2階）の無料使用 … 1日
- 〈C〉審査員（1名）との面談機会の提供（特別審査員を除く）

面談する審査員は受賞者にご相談の上、審査員のスケジュール等も考慮し、面談の機会をご提供いたします。

近畿経済産業局長賞…1点

- 副賞
ナレッジキャピタルでの更なるご活躍の機会の「場」の提供
下記よりひとつ選択（2025年度中有効）
 - ・カンファレンスルームの無料使用 … 6室
 - ・ナレッジシアターの無料使用 … 1日
 - ・カフェラボ（エキジビションスペース）の無料使用 … 1日

準グランプリ…2点

- 副賞（いずれかひとつ選択）
 - 〈A〉賞金10万円
受賞した方の今後の活動を支援するため、賞金を進呈いたします。
 - 〈B〉ナレッジキャピタルでの更なるご活躍の機会の「場」の提供
- 下記よりひとつ選択（2025年度中有効）
- ・カンファレンスルームの無料使用 … 6室
 - ・ナレッジシアターの無料使用 … 1日
 - ・カフェラボ（エキジビションスペース）の無料使用 … 1日

優秀賞…3点

- 副賞
ナレッジキャピタルでの更なるご活躍の機会の「場」の提供
下記よりひとつ選択（2025年度中有効）
 - ・カンファレンスルームの無料使用 … 6室
 - ・ナレッジシアターの無料使用 … 1日
 - ・カフェラボ（エキジビションスペース）の無料使用 … 1日

【応募要項】

【注意事項】

- 応募内容は第三者の知的財産権等を侵害していないもののみとさせていただきます。
第三者からの権利侵害、損害賠償などの主張がなされたときは、応募者が自らの責任のもと対応してください。主催者側では一切の責任を負いませんのでご了承ください。
また、第三者の知的財産権等の侵害が認められた場合、受賞結果発表後であっても受賞を取り消す場合がございます。
- イベント風景の写真等を使用される場合は、肖像権等のご配慮をお願いいたします。
ご記入いただいたテキスト及び図版はナレッジキャピタルの広報活動等に使用させていただきます。
- 応募作品については公序良俗に反しない内容をお願いいたします。
- ご応募にいただきました個人情報当アワードの目的以外に使用いたしません。
また、第三者に開示する事もございません。
- 応募作品は返却いたしません。USBメモリ等でご送付いただいた場合も返却いたしかねますのでご了承ください。
- 他社が製造あるいは知的財産権を保有し、仕入れまたは委託販売などにより取り扱っているものに関しては対象外といたします。
- 応募者様のご所属、ご本人確認をさせていただく場合がございます。
- エントリーシートに記載の注意事項も併せてご覧ください。
- エントリーされた作品に関しては、ナレッジキャピタルの活動において、参画者同士のコーディネートで資料などで使用する可能性があります。
また、ナレッジキャピタルが今後主催するイベントでの展示をお願いすることがございます。

【お問い合わせ先】

ナレッジイノベーションアワード事務局

〒530-0011 大阪府北区大深町3-1

グランフロント大阪 ナレッジキャピタル8階 K840

株式会社スーパーフェスティバル内

TEL : 06-6131-6881 (平日10:00~18:00) MAIL : kia@kc-i.jp

【審査員】

【審査員プロフィール】

審査員長

河川 洋一郎

東京大学 名誉教授 / アーティスト / 霧島アートの森 館長

1975年よりCGアートに着手。自己組織化する(Growth Model)アルゴリズムに基づくデジタルアートで世界的グランプリを多数受賞。1982年の国際学会SIGGRAPHにて世界デビュー後、世界各国で講演と作品発表を重ねる。

1995年ベネチア・ビエンナーレ日本館代表作家 / 2010年Distinguished Artist Award for Lifetime Achievement in Digital Art / 2013年紫綬褒章 / 2018年SIGGRAPH Award / 2023年文化功労者



審査員 ※50音順

伊藤 恵理

東京大学 先端科学技術研究センター 教授 / 東京大学 総長補佐

「空はひとつ」をモットーに、世界の空を駆けながら、航空輸送、航空管制および航空交通管理システムを起点とした「航空宇宙モビリティ」の研究に従事。東京大学大学院博士課程修了（航空宇宙工学専攻）。ユーロコントロール、オランダ航空宇宙研究所、NASAエイムズ研究所、電子航法研究所、南洋理工学大学などを経て、現職に至る。国際航空科学会議（ICAS）よりMcCarthy Award、John J.Green Award 受賞。著書に『空の旅を科学する 人工知能が拓く！？21世紀の航空管制』、『みんなでつくるAI時代 これからの教養としてのSTEAM』、『航空交通管理システム概論』がある。



遠藤 諭

株式会社角川アスキー総合研究所 主席研究員 / MITテクノロジーレビュー日本版アドバイザー

『月刊アスキー』編集長、アスキー取締役などを経て、2013年より現職。スマートフォン以降に特化したライフスタイルとデジタルの今後に関するコンサルティングを行っている。『マーフィーの法則』など単行本も手がけるほか、アスキー入社前には『東京おとなクラブ』を主宰。著書に『計算機屋かく戦えり』など。ASCII.JPほかで情報発信している。



大川内 直子

文化人類学者 / 株式会社アイデアファンド 代表取締役

東京大学教養学部卒業。同大学院総合文化研究科修士課程修了。専門は文化人類学。修士課程在籍中に文化人類学の方法論をユーザーリサーチに応用することに関心を持ち、海外リサーチ案件を個人で請け負う。金融機関での勤務を経て、2018年株式会社アイデアファンドを設立、代表取締役に就任。アイデアファンドではフィールドワークやデプスインタビューなどの手法を活かした質的調査を数多く手掛け、国内外のクライアントの事業開発に携わる。国際大学GLOCOM主任研究員、昭和池田記念財団顧問。著書に『アイデア資本主義』（実業之日本社）。



【審査員】

【審査員プロフィール】

塩瀬 隆之

京都大学総合博物館 准教授

1998年京都大学工学研究科修了。博士(工学)。2012年から経済産業省で技術戦略担当課長補佐、2014年京都大学復職。経済産業省産業構造審議会イノベーション小委員会委員、若手ワーキンググループ座長、大阪・関西万博政府日本館基本構想・基本計画有識者(座長)。平成29年度科学技術分野の文部科学大臣賞ほか受賞多数。主な著書に『インクルーシブデザイン』(学芸出版社、2014)、『問いのデザイン』(学芸出版社、2020)、『未来を変える 偉人の言葉』(新星出版社、2021)ほか。



村上 憲郎

大阪公立大学大学院 教授 / 元Google日本法人名誉会長 / 東京国際工科専門職大学 学長

1970年京都大学工学部卒。2003年4月Google米国本社副社長兼日本法人社長、2009年1月名誉会長に就任。2011年1月1日退任し、村上憲郎事務所を開設。ハイパーネットワーク社会研究所理事長、大阪公立大学大学院教授、国際大学グローバル・コミュニケーション・センター客員教授。大阪工業大学客員教授。会津大学参与。セルソース株式会社社外取締役。



安田 洋祐

経済学者 / 大阪大学 経済学部 教授

2002年東京大学経済学部を卒業(大内兵衛賞受賞、卒業生総代)。2007年米国プリンストン大学よりPh.D.(経済学)取得。政策研究大学院大学助教授、大阪大学准教授を経て、2022年より現職。専門はマーケットデザイン、ゲーム理論。2020年に株式会社エコノミクスデザインを共同創業し、コンサルティング業務やオンライン教育「ナイトスクール」を行う。政府の委員やテレビのコメンテーターとしても活動。主な著書に『日本の未来、本当に大丈夫なんですか会議 経済学×社会学で社会課題を解決する』、『そのビジネス課題、最新の経済学で「すでに解決」しています。』(いずれも共著)など。



ナレッジキャピタル部門 特別審査員

※ナレッジキャピタル部門 近畿経済産業局長賞のみ審査

信谷 和重

経済産業省 近畿経済産業局長

1990年通商産業省(現・経済産業省)に入省。中小企業庁長官官房参事官、貿易経済協力局通商金融・経済協力課長、通商政策局通商政策課長、大臣官房審議官(環境問題担当)、独立行政法人日本貿易振興機構副理事長を歴任。2023年10月から現職。東京大学法学部卒。

